

す な お

令和6年5月号

発行所 天理教瀬戸路分教会

〒794-0007 今治市近見町4-5-10

URL <https://www.tenrikyo-setoji.net/>

☎ 0898-23-5004 責任者 二宮 英治

発行日 2024.5.16 通巻 No.766



会 長

今月4日で転落をして怪我をしてから丸2年が経ちました。最近は以前と変わらないほどの御用も出来るようになっていきます。本当にありがたいことです。怪我をする前は、重たい物を持つ際に若い人がいるとできるだけ頼んでいましたが、今は敢えて持たせてもらい持てる喜びを味わっています。

先日、お道の子供向けDVDを見せてもらった時に、この身が思うように動くことのありがたさを感じると共に「心だけが我がのもの」とお教えくださる意味の深さに今更ながら気づきました。分かっているようで分かっていない【かしの・かりものの理】です。あらゆる物の全てが決して自分の物ではありません。借り物です。

教祖がそう教えて下さったのです。そして、自分にとってちょうど良いものを貸して下さいているのです。人間の親が子供の成長に合わせて様々なおもちゃを与えるように、親神様はそれぞれの魂にちょうど身体と周囲の環境を与えて下さっています。それを信じる、信じ切ることです。

「さあ！」と今日も一日、そして今月も勇んで喜んで勤めさせていただきしょう。



粘り強く

二宮 真悟

植木屋の5月といえば「松の芽摘み」の時期でございます。松は成長がかなり遅いほうで同種の杉が10年で6m伸びていくのに対して、松の背丈は10年で1mほどしか伸びないのです。かなりゆっくりですね。また松の性質として基本的に幹吹きをしません、いわゆる太い枝から新しい芽が生えてこないのです。植木屋が剪定で枝をつくっていくには枝先の比較的新しい枝から出てくる10cmほどの新芽を剪定していきますので、横幅も1年で5~6cmずつぐらいしか大きくなりません。

しかし、そんな松ですが、すごく粘り強くかなり古く細い枝でも折れそうで実は折れにくく、幹は建築材としても梁や桁などに使われるほど強度と粘りにすぐれています。長い時間をかけて幹・枝を伸ばした賜物です。逆に杉など成長の速い木は簡単に折れやすく、根があまり張らず倒木しやすい話はよく聞きます。

このお道は心の成長が肝心なのかなと思います。何事においてもすぐに成果を求めず、先を見越してじっくりじっくり、取り組んでいきたいです。そしていつか松のように粘り強い姿に成人していけたらいいなと思います。

今年は教会の松の芽摘みを試みますので良かったらご覧ください♪

《教会ニュース》

ようぼく一斉活動日

来月1日、午後1時より幾志分教会を会場に第2回目のようぼく一斉活動日が開催されます。各支部においては開催の日時が違いますので、確認の上参加をお願いします。分からない場合は会長にお尋ね下さい。

教会長交流巡教(6月16日)

来月の月次祭には長崎から御洲岬分教会より近藤義勝先生がお運び下さいます。ちょうど日曜日でもありますので、是非とも参拝していただきますようお願いいたします。

少年会活動報告 田中 道則

4月28日に教会でカラオケ大会を開催させてもらい、予想を超える高得点続出で、聴きごたえ歌いごたえのある大会になりました。曲によって点数の出やすいもの、そうでないもの、ロングトーンが多い方が点数が伸びやすいなど、人の曲を聴きながら研究させてもらいました。次の開催時期はまだ未定ですが、会場で聴くだけでも楽しいので皆さん是非参加してみてください！

こどもおちばがえり連絡

今年のこどもおちばがえりの連絡をさせていただきます。7月27日(土)、28日(日)の1泊2日で計画させてもらっています。近年の猛暑の中、自分自身も子供を連れて行く事に対して様々考えることがあります。大人もそうですが、夏場に外で長時間活動できる気温ではなくなってきました。現在、詰所にはクーラーが完備され室内で過ごす分には問題ないと思います。暑さ対策、予定の組み方、臨機応変な対応が求められます。その中、ただおちばがえり楽しかったなというのではなく、苦労して思案して一生懸命に帰らせて頂くと思うようになりました。教祖に喜んで頂き、大きな徳を頂くために、あえて夏のおちばがえりに参加させてもらおうと思います。

今回のおちばがえりは出来るだけ参加する人たちが教会に集まって一緒にいく形にしたいと思います。多数の参加をお待ちしています！詳しい日程、内容は追って教会LINEで連絡させていただきます。



編集後記

ゴールデンウィークの2日目、右折しようとした際に、対向車線が見えにくい状況で、反対車線から車がすごいスピードで飛び出してきました。咄嗟にブレーキを踏み、何とか衝突を回避できました。相手も急ブレーキで止まり、窓を開けて怒鳴っていました。私は頭を下げて謝罪し、相手車はそのまま走り去りました。あの時、もう少し早く交差点に入ってしまったらと思うと、今でもゾッとします。この出来事をきっかけに、日々の安全運転の大切さを改めて強く感じました。そして日々護って頂いていることに感謝し過ごしたいと思う今日この頃です(編集者K)